

下校時刻一覧

登校時間は、7時55分から8時5分です。

		1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
6	金	13:40	13:40	13:40	13:40	14:40	14:40
9	月	★	★	★	●	●	●
10	火	13:40	13:40	13:40	14:55	14:55	14:55
11	水	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05
12	木	13:40 14:05	★	●	●	●	●
13	金	13:40 14:05	★	★	★	★	●
16	月	13:40 14:05	★	★	●	●	●
17	火	13:40	13:40	13:40	14:55	14:55	14:55
18	水	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05
19	木	13:40 14:05	★	●	★	●	●
20	金	13:40 14:05	★	★		★	●
21	土				16:00		
23	月	★	★	★		●	●
24	火	13:40	13:40	13:40	13:40	14:40	14:40
25	水	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05	13:40 14:05
26	木	★	★	●	●	●	●
27	金	★	★	★	★	★	●
30	月	★	★	★	●	●	●
31	火	★	★	●	●	●	●

通常の日程の日の下校完了時刻と、その下校完了時刻を表す印

給食当番	14:05	★
掃除当番	14:30	

給食当番	14:50	●
掃除当番	15:05	

その週のお子様の当番については、学年や学級から配付されるプリントでご確認ください。

現時点では、まん延防止等重点措置は発令されていませんが、今後、発令された場合、予定を変更することが考えられますので、ご承知おきください。

学校への連絡方法について

家庭から学校への連絡は、お子様の連絡帳、電話のほかに、健康観察で利用いただいているリーバーの連絡欄に入力もできます。なお、16時までにご連絡いただければ、対応が早くなりますので、よろしくお願いいたします。

なお、ロイロノートですが、基本的に学習で使用するアプリケーションですので、担任との連絡に使用することは、ご遠慮ください。

熱中症対策

マスク着用も3年目を迎えました。5月に入り、マスクと熱中症についていろいろと、考えなければならない時期になりました。学校では、教室をはじめ室内では、マスクの着用を基本としています。

休み時間を含め、外での活動の場合は、マスクを外すことも出てくると思います。その場合は、距離を保って、活動するようにします。



学校だより 5月

www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/ekoda/



荏子田小学校

令和4年4月28日

月	火	水	木	金	土	日
						1
2 代休	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6 委員会	7	8
9 朝会 愛川保護者説明会 オンライン	10 体カテスト クラブ① スクールカウンセラー来校	11 体カテスト	12 体カテスト予備日	13 体カテスト予備日 聴力検査 5年	14	15
16 児童朝会 心臓病検診 1年 SSW来校 スクールカウンセラー来校	17 リーダー会議 聴力検査 1・2年 クラブ②	18 聴力検査 3年 避難訓練 キッズ会議	19 眼科検診 全学年	20 愛川宿泊体験学習 4年	21	22
23 4年 代休	24 聴力検査 PTA総会（書面） 委員会 スクールカウンセラー来校	25 尿検査回収 フレンドチーム よろしくねの会	26	27 2年 遠足 ズーラシア	28	29
30 集会 学校説明会 オンライン	31					

6月の主な予定

- 2日（木） 開港記念日
- 8日（水） 2年 遠足予備日
- 9日（木） 内科検診 3 5 6年
- 10日（金）～11日（土）
6年鎌倉宿泊体験学習
- 13日（月） 6年代休

- 16日（木） 耳鼻科検診 1, 4年 希望者
- 17日（金） 1年 遠足 虹ヶ丘公園
- 22日（水） 3年 遠足 ズーラシア
- 23日（木） 内科検診 1 2 4年まなび
- 24日（金） 1年 遠足予備日
- 29日（水） 3年 遠足予備日

3年目で初めて

授業参観・懇談会に多くの保護者の方々にお集まりいただき、ありがとうございました。この2年間、コロナ禍で、集まることが難しい状況が続いてきました。3年生のように、これがこの学年として、初めて対面型で実施した懇談会というケースも出てきました。

リモートが当たり前になり、集まることが少なくなってきた中で、対面型の懇談会を実施しました。これについては、保護者の皆様のご意見もお聞きしたいと思います。

新しい

新しいクラスになり、子どもたちは、新しい気持ちで取り組み始めています。4週目には、1年生が休み時間に外で遊ぶ姿が見られるようになりました。1年生のお気に入り、ジャングルジムや登り棒です。多くの1年生が集まり、遊具を楽しんでいる姿を見ることができます。そして、楽しそうに遊んでいる1年生をさりげなく助けてあげる6年生の姿も。

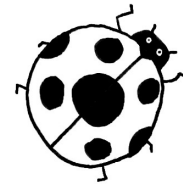
給食の用意や後片付けも、掃除もスムーズに進めることができます。保育園や幼稚園で、集団での活動になれ、できることもたくさんあることが良く分かります。これからも、一層頑張る1年生に出会えると思います

4月のある風景から～好奇心いっぱいの子どもたち

新学期が始まり1カ月がたとうとしています。

新しい教室、新しい教科書、新しい先生、新しい仲間。

いろいろな「新しい」に囲まれて、子どもたちはどこかそわそわしながらもわくわくしていることが伝わってきます。



朝、いつものように昇降口に立っていると、

「先生、見て！てんとうむしの幼虫見つけた！」と手の平を見せてくれるKさん。

そのあとすぐに、Sさんが

「ほら！てんとうむし！」と言いながら駆け寄ってきて見せてくれます。

幼虫と成虫を見比べながら、

「幼虫にも点々がある！」「ほんとだー」

と、わいわいと「虫談義」が始まりました。

しばらくすると、昇降口にあるCDデッキに2人が寄っていき、曲名が書かれたケースを見ながら耳を澄ませています。

実は、その日から「新しい」曲が入ったCDに変えたばかりだったのですが、なんと2人は、いつもと曲が違うことに気が付いて確かめにきたのだそうです。

登校したときに、音楽が流れていたら一日を気持ちよくスタートできるかなと思ってさりげなく始めたことだったので、こうやって違いに気が付く人がいるなんて思いもしませんでした。

日々、子どもの気付く力や感性に驚かされ、あたたかい気持ちで満たされます。

明日もみんなに会えるのが楽しみです。どんなお話ができるかな。

(児童支援専任 塚本裕美)

学級担任ではない先生も子どもたちに関わっていきます。

各学年からお知らせが出ていますが、各学年に教科を担当する先生を配置しています。教科を専門に取り扱うことと、クラス担任以外の先生も子どもたちと関わっていくことも目当てとしています。また、高学年では、1組、2組の先生がクラスを交換して授業を行っています。学年での取り組みも多くなり、どちらのクラスの先生も、どちらのクラスにも関わっていきます。

また、今年度も塚本先生が児童支援専任です。どのクラスにも関わっていきます。何かご相談がありましたら、担任、もしくは塚本先生までご連絡ください。

習慣としての学習

新しい年を迎え、子どもたちは、様々な目標を立てて取り組んでいます。学校では、学習することが中心ですので、子どもたちは、毎時間の課題をとらえ、学習に取り組んでいます。家庭にいるときと違い学校にいる間は、それぞれの時間にやらなければならないことが決まっています。ですので、それ以外のことをするという選択肢は基本的にありません。ところが、家庭にいる場合は時間の過ごし方の選択肢がたくさんあります。そして、子どもたちにとって魅力的な選択肢が揃っています。

ネットワークゲームのようにインタラクティブだけでなく、コミュニケーションも図ることができるもの。今では、何でもオンデマンドで見れるようになっている映像コンテンツ。内容の選択を自由に行えるYouTube。かつて子どもたちを虜にしてきたテレビや漫画ですら、衰退してきているとさえ言われています。これらの魅力的なコンテンツが周囲を取り巻く中、学習する習慣を身につけるのは、至難の業かもしれません。以前ならば、「ドラえもんが始まる前に、漢字の練習をしようね。」とテレビ番組をタイマー代わりに使うこともできました。しかし、オンデマンドで楽しめるYouTubeやネットフリックスには、タイマー代わりに働きをすることはできません。もちろん、時間制限を設け、それを利用することはできるかもしれませんが、しかし、無限大のコンテンツを持っている存在に打ち勝つのは難しいかもしれません。

いつの時代も、学習よりも楽しい、面白いものがたくさん存在しています。それに対抗するためにやってきたことが「習慣化」です。理想的には、子ども自身が興味や関心をもって学習に取り組むことだと思います。しかし、興味や関心をもって、自ら

やる気を出して、学習に取り組む姿をすべての子に求めるのは難しいと思います。であるとすれば、習慣を身につけることを考える必要があると思います。習慣づけるためには、何かと学習を関連付けるのがやりやすいと思います。先ほど触れたように「ドラえもんが始まる前の30分は学習の時間」であったり、「お風呂から出てからの30分は、計算の時間」というように何かと関連付けることができると、習慣として学習が子どもの中に根付きやすいと思います。子どもの生活の一部になれば、だんだん、家族が言わなくても、家庭でも学習に取り組む姿を見ることができると思います。

しかし、習慣を身につけるためには、学習が子どもがやりたいことを阻害する要因になってはいけません。子どもがやりたいことも保証することが大切です。学習自体が楽しいと思えばよいですが、そうでなければ、学習がやりたいことを邪魔するものになってしまうからです。そして、「学習のやり方」を理解できていないと学習を自ら進めることは難しいと思います。学習が習慣となるためには、ある程度家族の粘り強さが必要なのも事実です。

じゃあ、学校で宿題を出してくださいということになると、それは別の問題になってしまいます。確かに、宿題という形になると強制力が働きます。ですが、宿題に依存してしまうと、強制力が働かないと取り組まないという新しい問題が発生します。ですから、宿題を進めることが学習の習慣化に必ずしもプラスになるとは言えないのです。

学習の習慣化は大きな課題かもしれません。しかし、取り組んでみるべき課題だと思います。

(青木 勇)